

〔藍綬褒章〕

山崎 博文



津山市油木上742

津山市の山崎博文さんが、5月19日に農林水産省で「藍綬褒章」を受章されました。

山崎さんは、昭和52年から酪農経営に取り組み、地域の酪農家の代表として平成2年からホクラク農業協同組合の理事に就任。その後、ホクラク農業協同組合代表理事組合長、岡山県酪農農業協同組合連合会代表理事会長、初代おかやま酪農農業協同組合代表理事組合長、日本ジャージー登録協会会長、日本ホルスタイン登録協会会長の要職を歴任され、本県はもとより全国の酪農業の振興に貢献されたことで、今回の受章となりました。

(主な取り組み)

1 日本ホルスタイン登録協会における功績

平成10年6月から(社)日本ホルスタイン登録協会の理事に就任、平成12年6月から副会長理事、平成16年6月から会長理事に就任し、通算10年もの永きに亘り、ホルスタイン種牛の優良な血統を保存

・普及し、形質の改良と能力の向上を図るとともに、協会の運営に積極的に参画、事業の推進に大きく貢献されました。

特に、協会副会長並びに地元生産者団体の長として臨んだ平成12年の第11回全日本ホルスタイン・ジャージー共進会(岡山大会)、協会会長として臨んだ平成17年第12回同共進会(栃木大会)の両大会とも、その円滑な運営に尽力され、成功に導かれました。

2 おかやま酪農農業協同組合における功績

新時代に対応した県単一酪農協の組織づくりを目指し、県内酪農専門4農協の合併による「おかやま酪農農業協同組合」の発足に尽力されました。

また、その初代代表理事組合長として、組合業務の合理化、事業の再構築など活力ある組合運営に努められました。

(美作県民局農林水産事業部)